

Title	本社の機能と役割に関する一考察-トイタリー業界の「戦略」と「組織」-
Sub Title	
Author	川西敬之(Kawanishi, Takayuki) 山根節
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1997
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1997年度経営学 第1334号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001997-1334

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

川西 敬之
(ライオン株式会社)

主査 山根 節
副査 奥村 昭博
高木 晴夫

所属

山根 節 研究室

本社の機能と役割に関する一考察 —トイレットリー業界の「戦略」と「組織」—

トイレットリー業界は、生活必需品を提供するという面では、経済の好不況の影響を受けにくい。しかし、競争環境は厳しく激しいシェア争いが繰り広げられている。従来競争は、大量生産に支えられた同質的なコスト競争が中心であったが、マーケットが成熟期に入り、このような競争には限界が見えてきた。

これにともない、トイレットリー業界のメーカーは、差別化した新製品を開発することが求められている。同時に、その新製品を改良し続けることも重要である。創造性に富み、スピード経営を実現可能な組織が求められており、従来からの命令と統制による組織構造を変革しなければならない。経営トップと現場第一線部門とが一体的に行動できる俊敏な組織構造を実現すべきであるが、このためには命令・統制を行い、組織をコントロールしてきた本社組織こそを改革しなければならない。

本論文では、トイレットリー業界の戦略と組織を両面から分析することにより、本社改革の必要性を導き出した。

本社改革の具体的なステップとして、①解体→②再統合→③管理・統制機能の移管→④独立採算的運営を提案している。